

経営比較分析表（令和5年度決算）

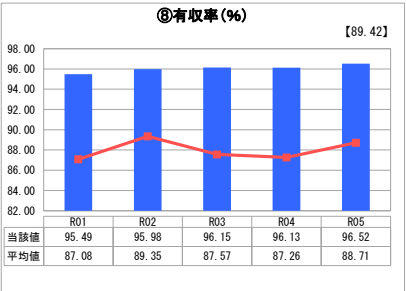
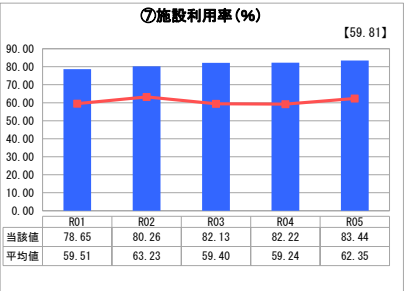
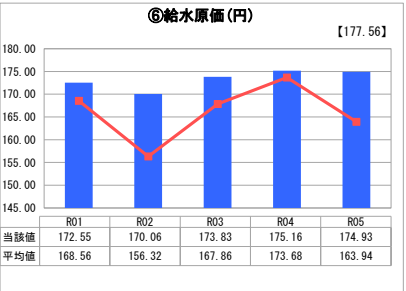
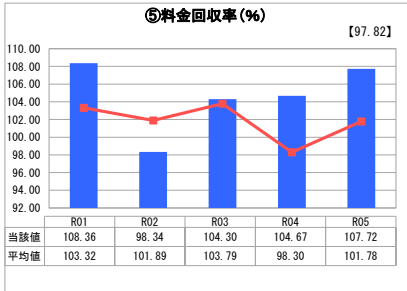
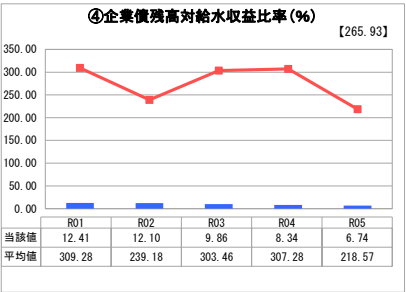
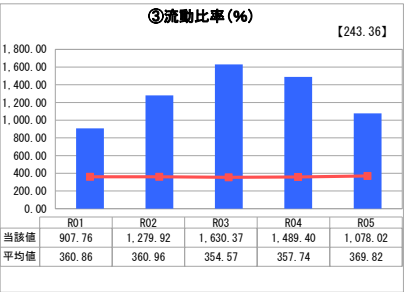
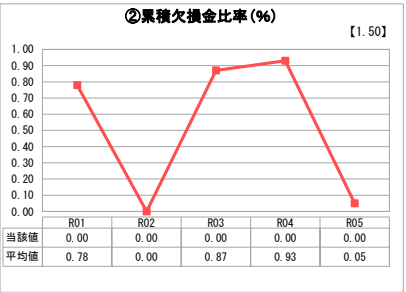
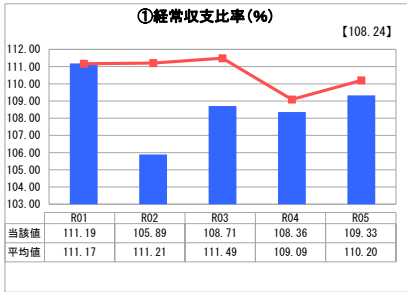
沖縄県 宜野湾市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A3	自治体職員
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
-	94.81	100.00	3,420	

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
100,322	19.80	5,066.77
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
100,009	19.69	5,079.18

グラフ凡例
■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 令和5年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



分析欄

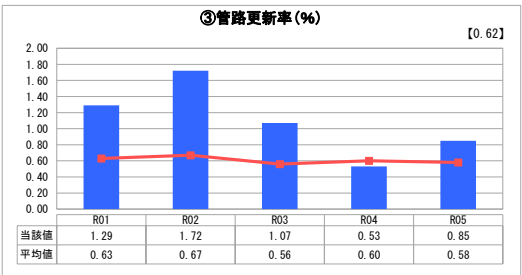
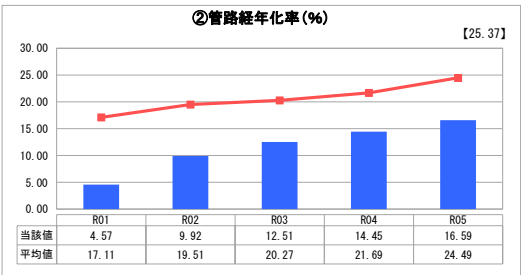
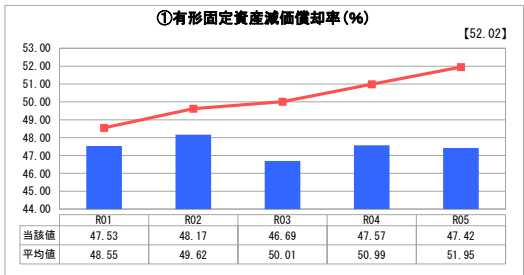
1. 経営の健全性・効率性について

①各年度の値は黒字であることを示す100%以上となっている。受水費の増加により費用は増加しているものの、それ以上に給水収益が増加しているため、前年度より上昇している。
②5か年間0%となっており、健全な状況といえる。
③流動比率は100%を大きく上回っており、短期的な債務に対する支払能力は問題のない状況となっている。流動負債の預り金が増加したため、前年度より低下している。
④類似団体平均値及び全国平均より低い値となっている。管路更新等を勘案し、随時その適正度を検討していく必要がある。R1以降減少し続けている。
⑤概ね適正な水準を維持しており、類似団体平均値及び全国平均を上回っている。
⑥概ね適正な水準を維持しており、類似団体平均値を上回っている。有収水量が増加したため、前年度より低下している。
⑦類似団体平均値及び全国平均に比べて、高い値を維持していることから施設の利用状況や規模は適正である。
⑧類似団体平均値及び全国平均に比べて、高い値を維持していることから効率的な収益へとつながっている。

2. 老朽化の状況について

①類似団体平均値及び全国平均より低い値となっており、前年並の数値となっている。
②類似団体平均値及び全国平均より低い値となっている。法定耐用年数を経過した管路延長の増加により、年々上昇している。
③類似団体平均値及び全国平均より高い値となっている。年度により値にばらつきがあるため、管路の更新投資のあり方について検討していく必要がある。

2. 老朽化の状況



全体総括

経営の健全性・効率性については概ね良好と判断できる。
しかし、管路が順次更新時期を迎えることが見込まれるため、適切に管路の更新や長寿命化等の対応をしていく必要がある。
引き続き経営の健全性を確保しつつ、経費の削減等に努め、事業費の平準化を図るとともに計画的かつ効率的な施設整備に取り組む必要がある。